



上向台小だより

臨時号
西東京市立上向台小学校
令和2年9月7日

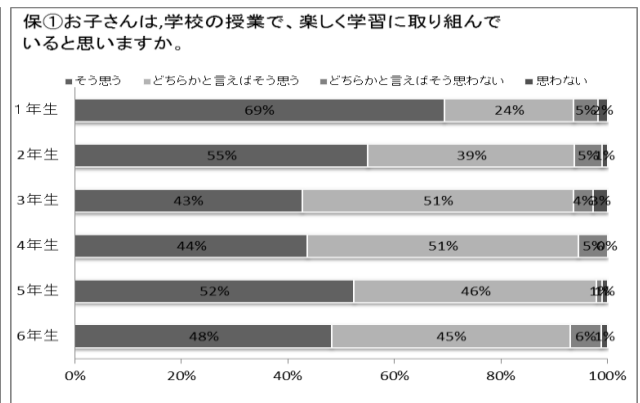
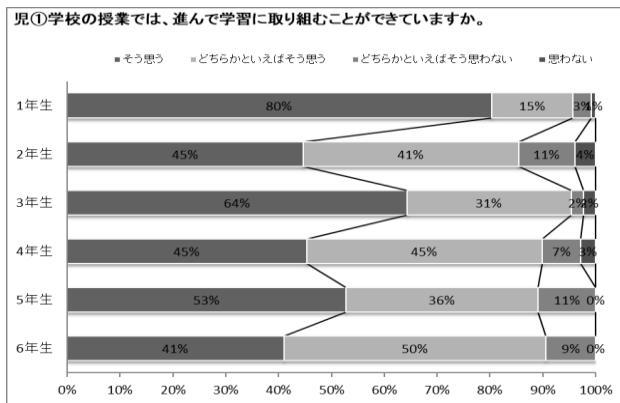
<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

令和2年度 1学期 学校アンケートのまとめ

1学期に行った学校アンケートでは、ご多用の中にも関わらずご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告をさせていただきます。

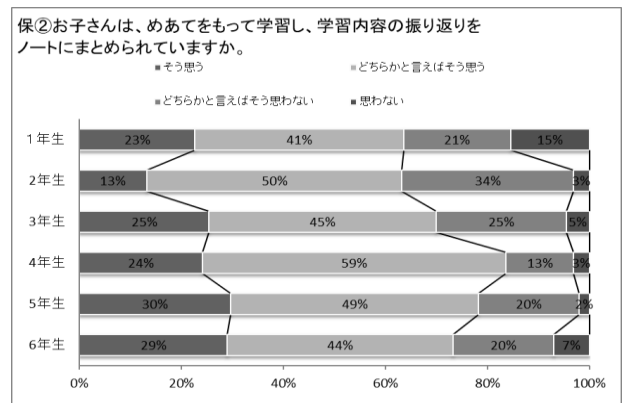
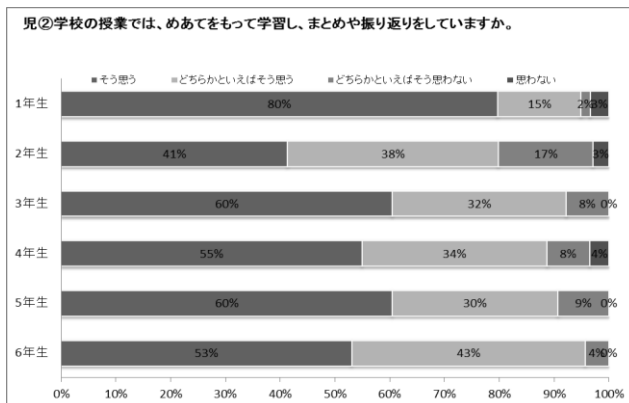
※**児①**、**保①**は、質問項目の番号について表記上簡略化したものです。**児①**は児童アンケートの項目①、**保①**は保護者アンケートの項目①を表しています。

1. 学習への主体的な取り組みについて



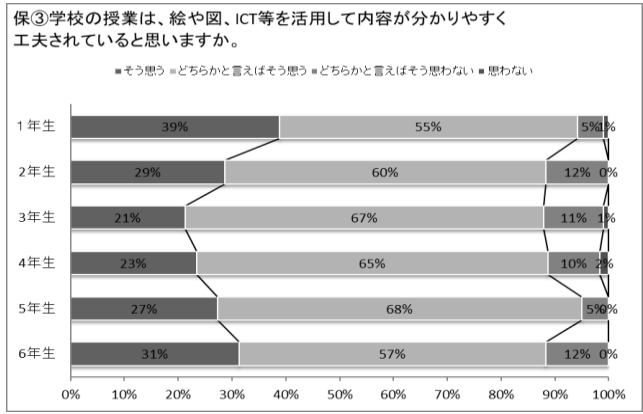
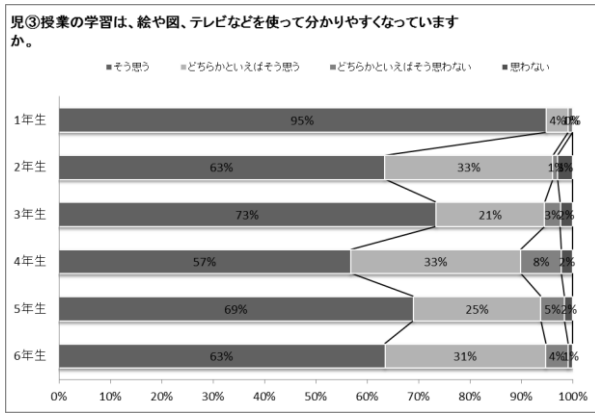
「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な回答が児童では8割以上、保護者では9割以上を占めました。しかし、**児①**では、学年が進むにつれ、意欲は下がっていく傾向があります。授業の中で、児童の関心点を基にしたためて作りや児童の関心を引く導入などの工夫をして、疑問を解決したくなる授業、考えたくなる授業を目指し、さらに児童が、主体的に取り組むことができる授業作りをしていきます。

2. 学び方の定着について



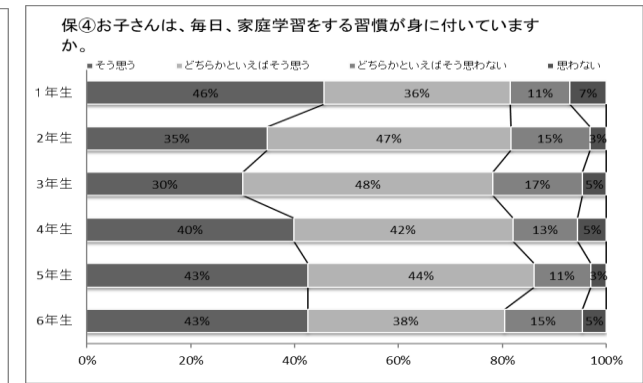
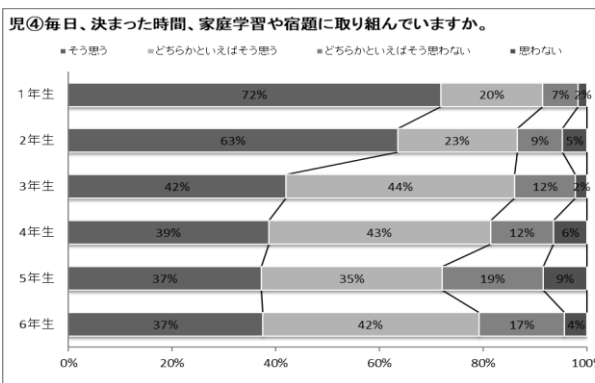
上向台小では、授業の進め方として、自らめあてをもって学習に取り組み、毎回の学び方について振り返るといった学習の進め方を推進しています。しかし、まだ、この授業の形が徹底できていない部分もあります。振り返りの時間の確保に向けて授業改善を進め、児童が明確なゴールを意識して取り組み、ノートに振り返りをまとめることができるように指導していきます。

3. 分かりやすい授業に向けた工夫について



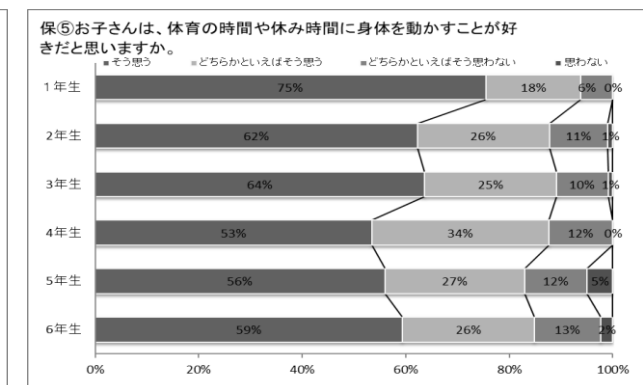
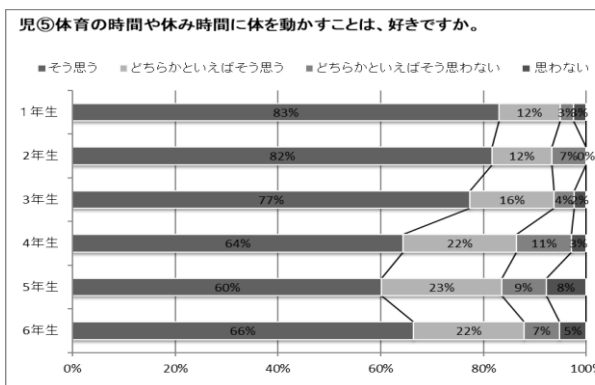
児③では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」で高い割合がでましたが、保③では、「そう思う」の回答が、4割に満たない回答でした。このことを課題として捉え、教員全体に ICT 活用法の周知をしたり、様々な場面で視覚的な提示の工夫を促したりし、目で見ても分かりやすい授業作りを進めていきます。また、今年度は、公開授業を行うのが難しい状況にあります。授業の様子は、学校ホームページや学年だより等で発信していきます。

4. 家庭学習の定着について



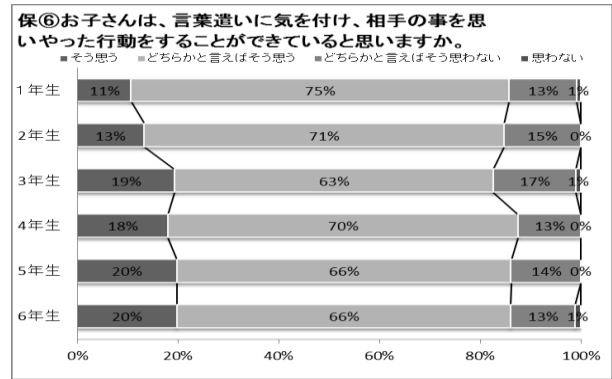
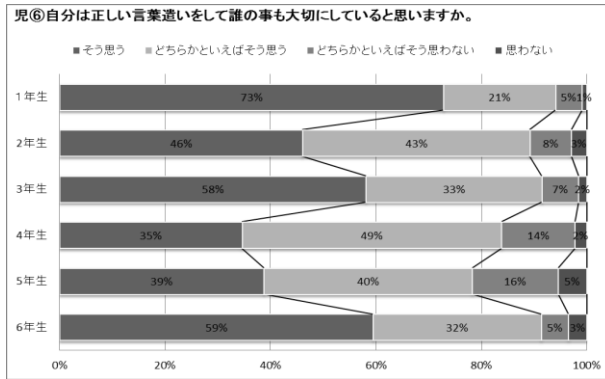
児④保④ともに7割以上の肯定的な回答をいただきました。本校では、「家庭学習のすすめ」を基にして学年×10分の学習時間やその時間に行う学習内容などについて、家庭学習の仕方を指導しています。これからも、学年の進行に応じて自主的な学習の時間を推奨するなど継続的な指導をしていきたいと思っております。ご家庭でも、ご協力をお願いいたします。

5. 運動への関心について



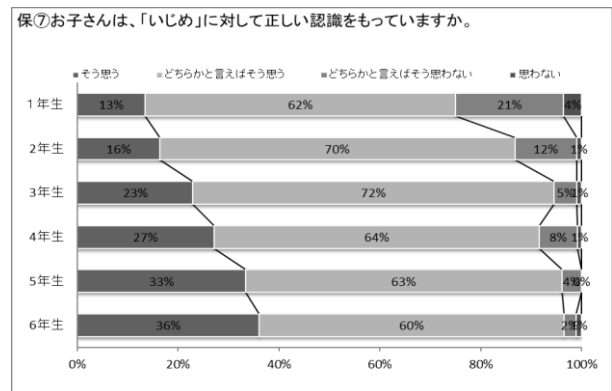
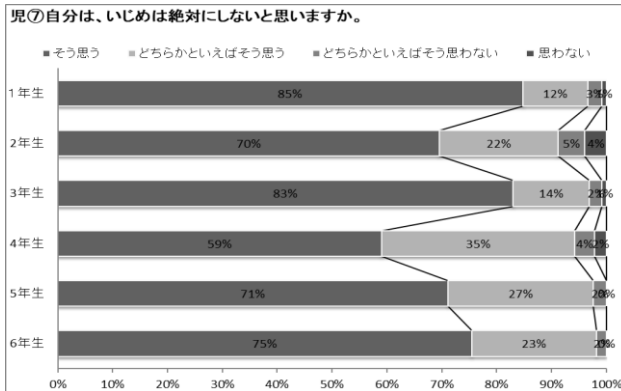
児⑤保⑤では、肯定的な回答が8割以上を占めました。今年度は、校内研究で体育の授業の改善を行っていきます。また、マラソンタイムや、なわとびタイムなどの体育的な活動を充実させていきます。そうすることで、児童の運動への関心を高め、体力向上と、進んで運動する子とそうでない子の二極化の解消につなげていきたいと思っております。

6. 思いやりのある言葉遣いや行動について



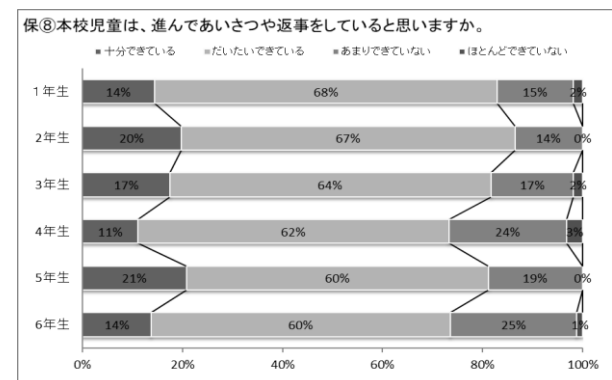
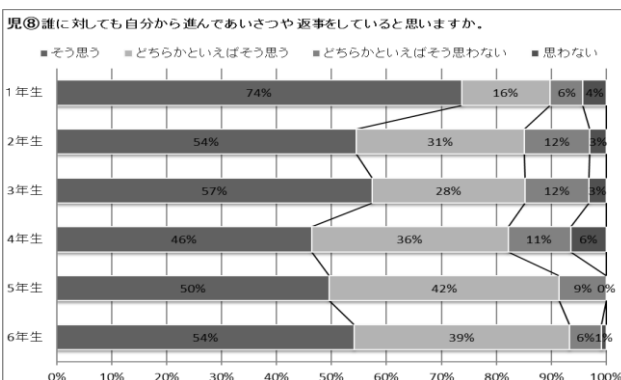
児⑥保⑥について、肯定的な回答が8割以上ありました。教員自らが手本となり、言語環境を整え、相手を思いやった言葉かけができる環境を作っていきます。また、道徳の授業を中心に心を育てることを目標に立て、人権感覚の高い児童を育てていきたいと思ひます。

7. 「いじめ」への理解について



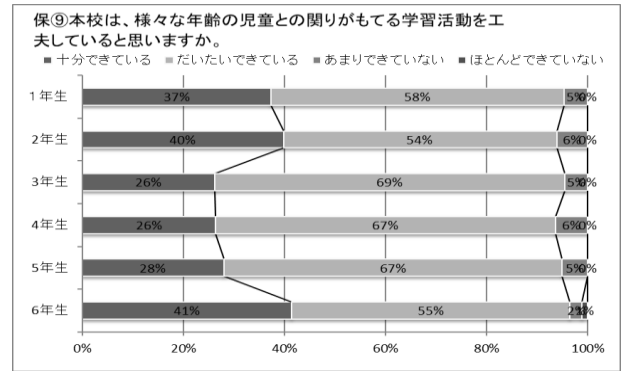
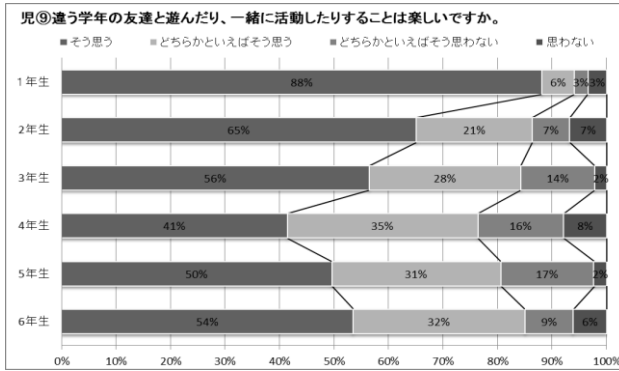
保護者の回答では、児童の回答より「そう思う」が少なくなりました。児童が「いじめ」について正しく認識する事は、継続的に児童の生活に関連付けて指導する必要があります。年に3回の「いじめ防止月間」を中心に、どのようなものが「いじめ」になるのか。どのようなときに「いじめ」は起こるのかなどについて生活場面に結びつけて継続的に指導をしていきます。

8. あいさつや返事について



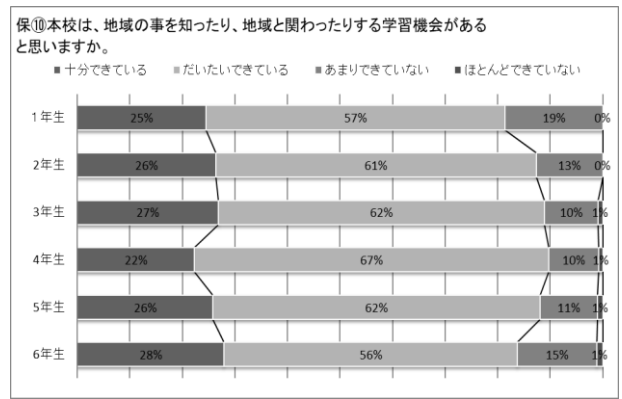
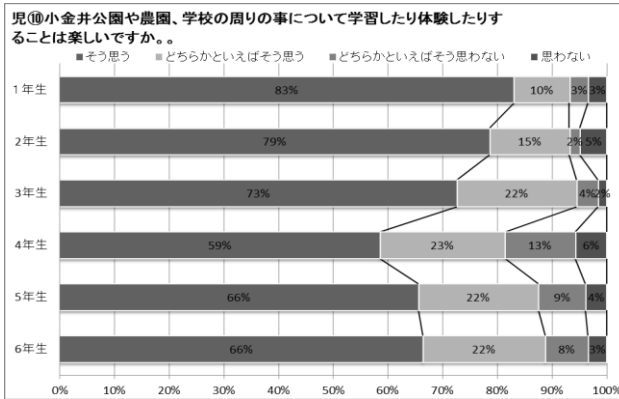
児⑧と保⑧で差が見られました。学校と家庭や地域などの生活場面によって、できている場面とできていない場面があることが考えられます。また、児童自身は実践しているつもりでも、相手には伝わっていないことも考えられます。あいさつや返事は、好ましい人間関係を構築する働きがあることなどを理解させ、相手の心に届くことの必要性についても考えさせていきます。教員自身も実践していき、適切な場面で進んであいさつや返事をするように指導していきます。

9. 異年齢児童の関わりについて



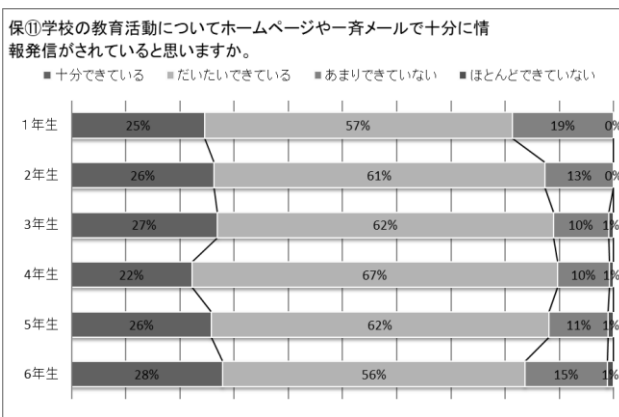
児⑨でも保⑨でも肯定的な回答が高く出ました。「上小で目指す児童像は6年生」をキャッチフレーズにして取り組んでいるフレンドタイム（縦割り活動）を、さらに意義のあるものにし、高学年も低学年もお互いに学びのある場を作っていきます。また、違う学年との関わりのある他の活動も可能な限り計画していきます。

10. 地域と関わる学習活動について



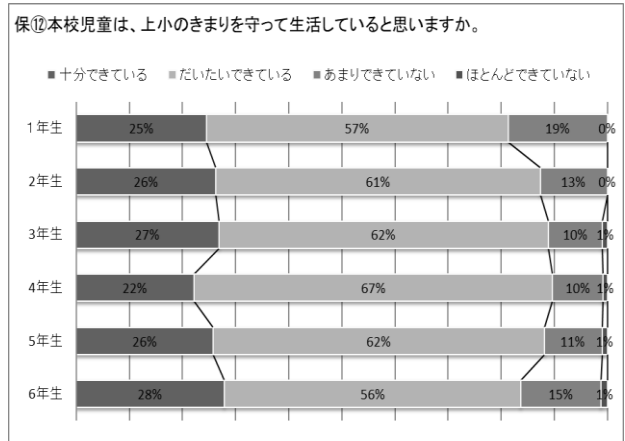
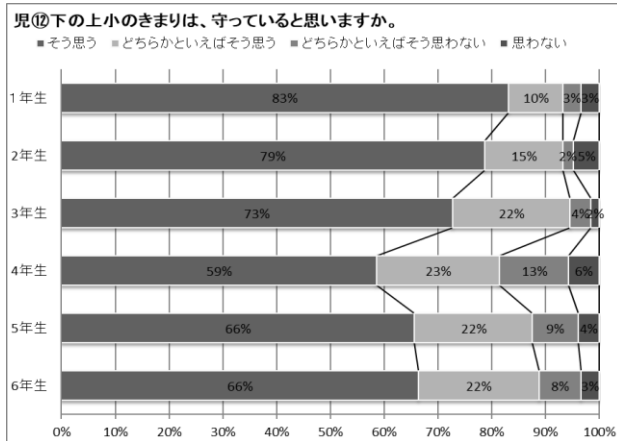
児⑩でも保⑩でも肯定的な回答が8割以上ありました。今年度の目標として、各学年で地域人材を活用した学習や、地域に出て地域について学ぶ活動を年に3回行うことを目標にしています。「地域とともにある学校」を目指して、地域人材とのつながりを作ったり、地域に出て学ぶ活動を計画したりし、地域とともに児童を育てていく学校作りを進めていきます。

11. 教育活動の情報発信について



肯定的な回答が8割以上になりました。今後も、保護者や地域の皆様のご意見も頂きながら、ホームページや一斉メールでの情報の提供の仕方を検討し、ご家庭への情報提供が十分にできるように努力していきます。また、魅力ある学校ホームページ作りに努め、保護者、地域の方に見ていただく機会を増やしていきたいと思えます。

12. きまりを守る生活態度について



児⑫でも保⑫でも、肯定的な回答が8割以上ありました。学校では、「みんなが安全に生活するため」や「お互いが気持ちよく生活するため」などのきまりの意味についても児童自らが考える場面を作り、指導していきたいと思います。また、生活指導に関する会議において、達成度の低いきまりについて共通理解を図り、全学級で確実に指導していきます。

以上の結果を総合してみると、上向台小学校の児童は、自己評価が高い傾向が伺われます。自己評価が高いということは、意欲の高さと考えられます。この強みを生かして、児童の力をさらに伸ばしていくよう努力をしていきたいと考えております。また、課題として捉えられる項目については、改善策を考え、2学期以降取り組んでいきたいと思ひます。

アンケートへのご協力、本当にありがとうございました。